

子育ての応援とサードプレイスの提供

活動名	加茂市家庭教育支援チーム みらいサポート子育て応援活動	活動	学校支援	放課後活動	地域未来塾 土曜学習	家庭教育	その他
活動主体	家庭教育支援チーム みらいサポート	区分				○	
市町村名	加茂市						

ねらい、目指すことは…

- ・ 地域の子育てと子育てをあらゆる面で応援すること。
- ・ 0歳から100歳までどんな人でも、自分のペースでおしゃべりを楽しみくつろげる場を提供する。
- ・ 孤育てを防ぐ為に、気軽に気楽に悩みや困り事を話せる場を作ること。

こんな活動をしました！

■小学校・自治体への家庭教育講座の提供

- ・ 小学校入学サポート講座：就学前健診時の保護者向け講座として提供

親も子ども安心して入学を迎える為の、家庭での具体的な親子の関わり方を紹介するとともに、入学前に保護者同士のつながりを作る場を提供する。

* 加茂市内外にて提供 計7校

■地域のお茶の間活動

目的 世代を超えて地域の顔見知りを増やし、
楽しく心豊かに暮らすお手伝いをする事

対象 0歳～100歳 どんな方でもウエルカム！！

場所 ひなたぼっこcafé

(代表者宅の一角と庭を開放)



【活動内容】

① 地域のお茶の間 月1回：週末 11時～16時 計12回 参加者116名



② みんなでごはん 月1回：第1金曜日 11時～16時
計9回 参加者45名

誰かと一緒におしゃべりしながらごはんを食べよう！のランチ会。
初めて会った同士でもごはんをまん中に話が弾む。継続するうちに、
シニア世代の常連さんが、季節の手料理を差し入れてくれるように。
顔見知りから知り合いに、そして友人になっていく。

③ 子ども手芸café 不定期：週末 10時～15時半
計6回 参加者26名

子ども達が親と離れ、好きなものを好きなように好きなだけ作る
自由三昧の一日。対象 年長さん以上 *親と離れて過ごせる子

④ 笹団子作り 季節行事 1回 10時～14時 参加者5名

初めて作る人、久しぶりに作る人が参加。先生役のママの手ほどきで楽しく美味しい時間を過ごす。

⑤ 子育ておしゃべり会&お茶タイム 平日 10時～16時 計6回 参加者13名

テーマに添って参加者同士が話し聴くことで、子どもの成長にあった子育てのヒントを見つける場

⑥ 子育ての気がかりなことを気軽に気軽に相談出来る場の提供 随時 計5回

■ 加茂暁星高校看護科の社会学の授業で『地域における子育て支援について』をテーマに、お茶の間の活動を紹介した。その後学生達がお茶の間を体験訪問し、参加者にインタビューするなど、学びの機会になった。

こんな苦労や困ったことがありました…

特にありませんでした。

地域への周知・啓発方法は…

- ・加茂市内の子育てのLINEグループ（約200名）やSNS（インスタ・フェイスブック）での情報発信。
- ・手配りチラシを持ち歩き、会った人にまめに渡す。講座等の折に参加者に配布する。
- ・地域のお茶の間新聞『ひなたぼっこプレス』の発行（不定期）
- ・講座に伺った学校（加茂市のみ）で、新1年生の親御さんに活動紹介チラシを配布させてもらう。

ネットワーク

連携の相手先は…

- ・小学校での開催講座について
開催時期等の相談…各小学校の校長・教頭・教務主任の先生方
プログラム提供元…NPO法人ハートフルコミュニケーション
- ・講座依頼元の公民館担当者
- ・活動をサポートしてくれるチームメンバー
- ・加茂市教育委員会・加茂市こども未来課
- ・お茶の間に来てくれる常連さん

指導者やボランティアの確保は…

- ・主に代表が出来る事とやってみたいことを中心に活動しているため、ボランティアなどは特に募らないが、参加者がお手伝いをしてくれるなど、人とのつながりに助けられている。
- ・チームメンバーが、自分の得意な分野でサポートしてくれる。

ネットワークを広げていくために…

- ・地道にコツコツと取り組みを真摯に継続し、参加者の信頼感と安心感につなげるよう努める。
- ・地域の広報や新聞などから情報を収集し、種まきが出来そうな所へは積極的に出向き活動を伝える。
- ・活動の様子を自分の得意なこと（分野）で発信する。

成果と課題

こんな成果がありました！

① 家庭教育講座の成果

- ・入学前に子どもへの関わり方を学ぶ事で、親子で楽しみながら入学を迎えられたとの声があった。
- ・同じ年頃の子を持つ親同士が話すことで、気持ちが楽になり笑顔が増えていき、講座が終わる頃には皆さん穏やかな表情で、肩の力を抜いて場を楽しんでいる様子がうかがえた。
- ・グループワークが、入学後のスムーズな保護者同士の関わりに役立ったと、学校側から喜ばれた。

② 地域のお茶の間の成果

- ・老若男女が集い、おしゃべりに笑顔の花が咲く温かい場が広がった。
- ・地域のお茶の間で知り合いになった人同士が、その後個人的に一緒に楽しく過ごされている。
- ・ママがお茶を飲む間、シニア世代がお子を抱っこするなど、多世代交流が自然と生まれている。
- ・一人暮らしの男性シニアが、若いママ達とのおしゃべりをとても楽しんでいて、表情がいきいき！
- ・いつもひとりで食事をしている方に、『誰かと一緒にごはんを食べると、とても楽しく食欲が増す。』と、喜ばれた。
- ・初対面同士の間、『またね！』と挨拶が出来る関係が生まれている。
- ・親と離れて子ども達だけで過ごす手芸caféは、子どもが自分で考えて自分で決める良い機会となっている。のんびり気ままな手芸を楽しむと同時に、失敗やうまくいかないことも自分で受け止め、様々な気持ちを味わっているようだ。子どもの作品を見て驚く親の様子に、子ども達はご満悦。
- ・おしゃべり会では、子育て中の親同士で迷い悩んでいる気持ちを共有することで、楽になりほっ…とした様子を感じる。悩んでいるのは自分だけではないと気づき、またがんばろう！と思うとのこと。
- ・おしゃべり会で見つけた子どもへの関わり方を取り入れ、子どもとの関係性が改善されたそう。
- ・同じ年頃の子の親と存分に話せてとても楽しかった！と、晴れ晴れとした笑顔を見ることができた。
- ・夫婦でお茶の間に参加することで、お互いのキモチや考えを知ることもあり、思いがけず夫婦の相互理解の機会になったようだ。

課題と対策、これからの方向は…

- ・より多くの人に知ってもらい講座やお茶の間の参加者を増やす為に、さらに効果的な周知活動を模索する。
- ・出会いと広がりを目指し、子育て中の親と地域をつなぐ取り組みを考える。
- ・ファミサポと連携し、親が子どもと離れて講座やおしゃべりに参加出来る機会を作りたい。
- ・今後も子育てと子育ての両面で地域を応援していく。

(問い合わせ先) 櫻井コーチ&コンサルティング内 みらいサポート 代表 櫻井美奈子

〒959-1333 加茂市八幡 2丁目4-11

電話/FAX 0256(53)0900 / 090(2458)5087 Email: heartful.kamo@gmail.com